

平成 26 年度 大磯町防災会議 会議録

1. 日 時 平成 27 年 2 月 6 日 (金)

開会時間 午後 2 時 00 分

閉会時間 午後 3 時 00 分

2. 場 所 大磯町立福祉センターさざれ石 2 階レクリエーション室

3. 出席者

会長	中 崎 久 雄	大磯町町長
委員	松 井 正 信	農林水産省関東農政局横浜地域センター総括管理官
	吉 野 英 二	海上保安庁第三管区海上保安本部湘南海上保安署署長
	佐 藤 清	神奈川県湘南地域県政総合センター所長
	巴 靖 章	神奈川県平塚土木事務所副所長
	添 田 千 絵	神奈川県平塚保健福祉事務所企画調整課課長
	菊 田 稔	神奈川県企業庁平塚水道営業所所長
	飯 塚 慎 一	神奈川県大磯警察署警備係長
	二挺木 洋 二	大磯町政策総務部部長
	藤 家 崇	大磯町教育委員会教育長
	和 田 勝 巳	大磯町消防本部消防長
	岡 村 浩 之	東日本電信電話(株)神奈川西支店支店長
	高 橋 竜 仁	東京電力(株)平塚支社次長
	石 井 宏 和	(一社)神奈川県トラック協会県央ブロック委員
	齋 藤 達 也	(一社)中郡医師会大磯班班長
	曾根田 純一郎	大磯町自主防災組織連絡協議会会長
	岩 田 全 弘	大磯町区長連絡協議会会長
	柳 田 保 幸	大磯建設協会会長
	岡 本 元 美	大磯町女性防火クラブ副部長

(23名中18名出席)

4. 傍聴者 なし

5. 開会 (事務局)

○委員の紹介

○過半数の委員の出席により、大磯町防災会議運営要綱第 2 条第 2 項の定足数を満たしており、会議の成立を報告

○会議の公開を説明

6. 会長挨拶

ただいま紹介のありました、大磯町長の中崎でございます。

本日は皆様大変お忙しいところ、大磯町防災会議へご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年度の大磯町防災会議では、大磯町地域防災計画資料編についてご審議いただきました。おかげさまで、先の東日本大震災の発生による新たな視点を持って、「地震災害対策編」、「風水害等災害対策編」、「資料編」の全てについて見直し作業を行い、委員の皆様にお配りすることができました。

しかしながら、全国的な視点を持ちますと、伊豆大島や広島県での大規模な土砂災害、御嶽山の噴火などの災害がありました。また、ここ大磯町でも昨年2月の大雪や10月の台風による災害が発生しており、町は町民の生命、身体、財産を災害から保護する基礎的な地方公共団体として、県や関係団体のお力をお借りしながら女性や高齢者、子供達も含めた町民が1つになって、今後も継続して防災に取り組んでいきたいと思ひます。

本日は大磯町地域防災計画の、「地震災害対策編」について、皆様にお諮りしたいと思ひます。

また、本日もご出席の、防災会議委員の皆様には、普段から災害に備えた事前対策や、災害発生時における応急対策、復旧活動に、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げる次第です。本日は、よろしくお願ひいたします。

7. 議事

○配布資料の確認

会長が議長となり議事を進行

(1) 平成26年度大磯町地域防災計画の改訂について

【会長】

議事(1)の「平成26年度大磯町地域防災計画の改訂について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料1「平成26年度大磯町地域防災計画の改訂について」により説明。

【会長】

ご意見、ご質問などありましたらお願いします。

【委員】

～意見・質問なし～

【会長】

それでは、大磯町地域防災計画の改訂につきましては、以上のとおりです。

(2) 平成26年度防災に関する取組みについて

【会長】

続きまして、議事(2)の「平成26年度防災に関する取組みについて」事務局をお願いします。

【事務局】

資料2「平成26年度防災に関する取組みについて」及びスクリーンにパワーポイント資料を投影しながら説明

【会長】

事務局より説明がありました。ただ今の内容で、ご質問等がございましたら、お願ひいたします。

【委員】

「職員情報伝達・収集訓練」について携帯メールを使用するとあったが、東日本大震災時には全国的にメール配信に遅延が生じたと聞いている。携帯メールの他にも何かシステムを考えたほうが良いのではないか？

【事務局】

町では当該システムを東日本大震災以降に導入しました。専門のメール配信設備を持った業者と契約しています。サブシステムの導入については、今後検討していきます。また、町から職員

に連絡がとれない場合でも、震度5強以上の地震が発生した場合などは、対象職員は自動参集するルールとなっています。

【委員】

「津波発生時における緊急避難場所としての使用に関する協定」についてですが、NTTでは公共の指定避難所で特設公衆電話が使用できるよう、予め電話線を引き込む対応をしており、大磯町にも設置が出来ている。今後も避難所を増やす場合など、ご相談いただければと思う。

【事務局】

津波発生時に避難する場所として、大磯町では「津波避難場所」、「津波避難ビル」の指定に取り組んでいます。「津波避難ビル」の指定は、所有者のご理解とご協力のもと協定させていただいています。津波避難ビルに電話線を引くご提案については、ありがたく受け止め、検討していきます。

【委員】

災害時の通信方法として衛星携帯電話を配備している市町村もあるようだが、町は今後の計画はありますか？衛星携帯電話は天候によっては繋がりがなく、通常の携帯電話の方が良いということも聞くが？

【事務局】

検討課題として以前から考えているところです。悪天候時や建物内部では繋がりにくいという話も聞いています。今後も衛星携帯電話の性能等に注目しながら、引き続き検討していきます。

情報伝達手段については、音声通話だけではなく、テキストデータによるメール配信などもあります。町では情報伝達手段は1つに絞らず、町民や施設、関係団体の皆さんなどと連絡が取れるように複数化して行くという基本姿勢で取り組んでおります。

【委員】

町の防災計画は詳細に定められていると思うが、地区の防災計画が十分ではないように思う。地区の防災計画も力を入れていくよう、明文化して欲しい。

【事務局】

災害対策基本法が改正され、地区の防災計画を定めることが出来ることになりました。国全体で行政主体だけではなく地区でも取り組んでくださいと言う方向が示されたものだと思います。「自助、共助、公助」の中の共助の部分、地区で担うところの部分については、自治会などのコミュニティで話をさせていただいて、その計画を町の地域防災計画に反映させていくという形も出来ると思います。地区の防災計画については、区長会防災部会などで今後意見交換をしながら進めて行ければと思います。

【会長】

それでは、「平成26年度防災に関する取り組み」については以上です。平成27年度につきましても、町民の安全安心のため町が取り組む防災事業に対し、委員の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

(3) その他

【会長】

それでは最後の議事(3)「その他」になりますが、事務局より何かありますか？

【事務局】

2点報告します。

1点目は土砂災害に関して、神奈川県平塚土木事務所により平成25年度から土砂災害防止法に基づく基礎調査が行われ、調査結果の説明会を行い、現在は結果の公表が行われ、町民の皆さんに周知が図られているところです。また、神奈川県により今年度内を目標に警戒区域等の告示の作業を進めて行くと聞いています。町では今後も土砂災害の危険箇所について町民の皆さんに周知を図るとともに、訓練等の取り組みに繋げて行きたいと考えております。

2点目は神奈川県において、県下の地震被害想定調査の取りまとめ作業が進められており、今後市町村に示される予定です。町ではその結果を踏まえ、地域防災計画に反映してまいります。また併せて津波の浸水想定についても、県による作業が進められていると聞いており、こちらについても結果を踏まえ地域防災計画に反映し、防災の取り組みに活かしてまいります。

【会長】

それでは、これもちまして本日の議事を終了させていただきます。ありがとうございました。

終 了